

新課程用公開授業指導案参考様式 (R6 第1学年、2学年、第3学年)

*平成30年告示の学習指導要領を参考に「目標」「評価規準」「評価の観点」を記載すること

〇〇科公開授業学習指導案

指導者 職・氏名 _____

指導日時・教室 令和____年____月____日(____)____限目 教室名_____
 対象生徒・集団 ____科____年(次)生____人(内訳 H____人) (*習熟度基礎・応用等を書く。)
 科目名 _____(単位数____)
 使用教科書 _____(出版社名____)

1 単元名 _____

2 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【高等学校 各教科】(国立教育政策研究所教育課程センター)を参考にする。 </div>		

*職業に関する教科については、「知識・技能」は「知識・技術」とする。

3 単元(題材)の指導と評価の計画(総時数____時間)

※研究授業、公開授業の「本時」は評価の場面のあるものとする。

◎を記録に残す評価として残す
 ●を記録に残さないが、指導の改善に生かす評価として記す

<基本様式1(国語を除く教科)>

時	ねらい・主な学習活動	知技	思 判 表	態 度	評価の方法等
1	例) ~を理解する。	●			ノート
2	~を考える。		●		ワークシート
3	~をまとめ、発表する。		◎		
4					
⋮					

単元の最終評価として「パフォーマンステスト」などを位置付けている場合は、時に「後日」、ねらい・学習活動に「パフォーマンステスト」などを記入しても良い。

本時に該当する部分は太線で囲み、位置づけを明確にする。

単元(題材)全体の指導計画がわかるよう、学習内容及び主な学習活動を明示する。
 題材について記載する場合は、単元全体の構成についても意識した上で記載すること。
 外国語の場合は、「主な学習活動」は「主な言語活動」とする。

◎を記録に残す評価として残す

<基本様式2 (国語)>

次 (時数)	主な学習活動 (中心発問)	知 技	思 判 表	態 度	評価の方法等
一 ()	例) ○～について見通しをもつ。 ○～について考え、ワークシートにまとめる。	◎			ワークシート
二 ()	○～をICT端末で記録する。 ○～を発表する。		◎		観察
三 ()					
⋮					

本時に該当する部分は太線で
囲み位置づけを明確にする。

単元（題材）全体の指導計画がわかるよう、学習内容及び主な学習活動と配当時間を明示する。
題材について記載する場合は、単元全体の構成についても意識した上で記載すること。

4 本時の指導と評価の計画（第__時）または（第○次○時）

(1) 本時のねらい

単元（題材）の目標を踏まえて、生徒が何を学び、どのような資質・能力を身に付けるのかを明らかにし、生徒の視点に立って具体的に記述する。

* 生徒が身に付ける資質・能力を、1～2つ箇条書きで記述する。

(2) 準備・資料等 _____

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
時間配分を書く	<p>○学習活動のまとめり毎に、その学習内容が分かるように簡潔に書く。</p> <p>* 導入・展開・まとめ等の順に書く。</p>	<p>○生徒が何を目標に、どんな学習活動をするのかを具体的に書く。</p> <p>* 学習集団内の理解度、習熟度の差にも留意する。</p>	<p>○学習活動と教師の指導とのかわりを具体的に書く。</p> <p>・ 生徒への説明方法、発問の仕方 ・ 資料提示の機会や方法 ・ 学習方法や学習形態の工夫点 ・ 主体的な学習への支援 等</p>	<p>○評価の観点を踏まえ、評価規準（概ね満足できる状況）を具体的に書く。</p> <p>* 本時のねらいと一体となった評価規準とする。</p> <p>【評価規準・観点の例】</p> <p>・ ～を考察し、導き出した考えを表現している。 【思考・判断・表現】</p> <p>・ ～について理解している。【知識・技能】</p> <p>【評価方法例】</p> <p>・ 観察（行動、発言、発表等） ・ ノート ・ ワークシート ・ レポート ・ 作品（図表、新聞等） ・ テスト ・ パフォーマンステスト 等</p> <p>* 本時の主要な評価規準を示す。（通常、1単位時間あたり、1～2個の設定が望ましい。）</p>
		<p>○ねらいに対応した主発問や評価の場面をわかりやすく示す。</p> <p>* 主発問や評価の場面を枠で囲むなどの工夫をする。</p>	<p>○予想される生徒の反応や状況とそれに応じた指導の具体的な手だてを書く。（概ね満足できる状況に至らない生徒への手だてを書く。）</p> <p>* T Tの授業の場合、T 1・T 2とし、それぞれの指導について具体的に書く。</p>	

(注) 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(国立教育政策研究所)を参考に作成する。学習指導案はA 4判2枚以上となってもよい。（表裏印刷）

旧課程用公開授業指導案参考様式（R6 第4学年）

*平成21年告示の学習指導要領を参考に「目標」「評価規準」「評価の観点」を記載すること

〇〇科公開授業学習指導案

指導者 職・氏名 _____

指導日時・教室 令和____年____月____日（ ） ____限目 教室名 _____
対象生徒・集団 ____科____年（次）生____人（内訳 H 人）（*習熟度基礎・応用等を書く。）
科目名 _____（単位数 _____）
使用教科書 _____（出版社名 _____）

1 単元名 _____

2 単元（題材）の評価規準

<基本様式1（国語を除く教科）>

		4 観点で記載する。	

<基本様式2（国語）>

		3 観点で記載する。	

3 単元（題材）の指導と評価の計画（総時数_____時間）

※研究授業、公開授業の「本時」は評価の場面のあるものとする。

<基本様式1（国語を除く教科）>

時	ねらい・主な学習活動	評価の方法等
1	例) ~を理解する。	ノート
2	~を考える。	ワークシート
3	~をまとめ、発表する。	
4		
⋮		

単元の最終評価として「パフォーマンステスト」などを位置付けている場合は、時に「後日」、ねらい・学習活動に「パフォーマンステスト」などを記入しても良い。

本時に該当する部分は太線で囲み、位置づけを明確にする。

単元（題材）全体の指導計画がわかるよう、学習内容及び主な学習活動を明示する。
 題材について記載する場合は、単元全体の構成についても意識した上で記載すること。
 外国語の場合は、「主な学習活動」は「主な言語活動」とする。

<基本様式2（国語）>

次 (時数)	主な学習活動 (中心発問)	評価の方法等
一 ()	例) ○~について見通しをもつ。 ○~について考え、ワークシートにまとめる。	ワークシート
二 ()	○~をICT端末で記録する。 ○~を発表する。	観察
三 ()		
⋮		

本時に該当する部分は太線で囲み位置づけを明確にする。

単元（題材）全体の指導計画がわかるよう、学習内容及び主な学習活動と配当時間を明示する。
 題材について記載する場合は、単元全体の構成についても意識した上で記載すること。

4 本時の指導と評価の計画（第__時）または（第○次○時）

(1) 本時のねらい

単元（題材）の目標を踏まえて、生徒が何を学び、どのような資質・能力を身に付けるのかを明らかにし、生徒の視点に立って具体的に記述する。

* 生徒が身に付ける資質・能力を、1～2つ箇条書きで記述する。

(2) 準備・資料等 _____

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
時間配分を書く	<p>○学習活動のまとめり毎に、その学習内容が分かるように簡潔に書く。</p> <p>* 導入・展開・まとめ等の順に書く。</p>	<p>○生徒が何を目標に、どんな学習活動をするのかを具体的に書く。</p> <p>* 学習集団内の理解度、習熟度の差にも留意する。</p>	<p>○学習活動と教師の指導とのかわりを具体的に書く。</p> <p>・ 生徒への説明方法、発問の仕方 ・ 資料提示の機会や方法 ・ 学習方法や学習形態の工夫点 ・ 主体的な学習への支援 等</p>	<p>○評価の観点を踏まえ、評価規準（概ね満足できる状況）を具体的に書く。</p> <p>* 本時のねらいと一体となった評価規準とする。</p> <p>【評価規準・観定の例】</p> <p>・ ～を考察し、導き出した考えを表現している。 【思考・判断・表現】</p> <p>・ ～について理解している。【知識・技能】</p> <p>【評価方法例】</p> <p>・ 観察（行動、発言、発表等） ・ ノート ・ ワークシート ・ レポート ・ 作品（図表、新聞等） ・ テスト ・ パフォーマンステスト 等</p> <p>* 本時の主要な評価規準を示す。（通常、1単位時間あたり、1～2個の設定が望ましい。）</p>
		<p>○ねらいに対応した主発問や評価の場面をわかりやすく示す。</p> <p>* 主発問や評価の場面を枠で囲むなどの工夫をする。</p>	<p>○予想される生徒の反応や状況とそれに応じた指導の具体的な手だてを書く。（概ね満足できる状況に至らない生徒への手だてを書く。）</p> <p>* T T の授業の場合、T 1・T 2とし、それぞれの指導について具体的に書く。</p>	

(注) 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(国立教育政策研究所)を参考に作成する。学習指導案はA 4判2枚以上となってもよい。（表裏印刷）